

研修通信



vol.17

6ヶ月の振り返り



平成29年度の新入職員も業務にも慣れて、少しづつ周りが見えてくる時期でもあり、また「馴れて」くる時期でもあります。そこで、今の自身の状況を振り返り、今の思いを同期と共有する時間としました。

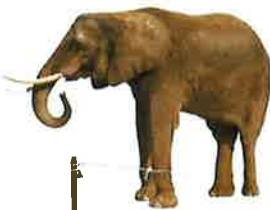
- ・入職時は「ありがとう」と言われて素直にうれしかったのですが、「ありがとうと言ってもらえる程のことが私に出来ているのか」と不安に思うこともあります。もっと頑張らないと！
- ・目の前のご利用者の対応の仕方ばかり覚えようとして、ご本人様のことを理解しようとしていませんでした。業務だけではなく、お一人お一人のことをしっかりとみていこうと思います！
- ・最近、感情が態度に出てしまって…。ご利用者に何度も同じことを言われ、無表情で対応していて…。ストレスマネジメント、アンガーマネジメントなどを学びたいです。
- ・気持ち的に余裕が出てきて、今まで気付いていなかったことに気付けるようになりました。先輩達はこんなところまで気遣っていたんだなと。また、記録やケアプラン、洗濯などご利用者と直接接する以外の業務が思っていたより多くて驚きました！
- ・夏祭りでは、先輩方が準備で大変そうでしたが、ご利用者もご家族も一緒に楽しまれていました。私もいろんな行事を企画したいです！
- ・今までは食事介助でも目の前のご利用者のことで精いっぱいだったのですが、少しづつ全体を把握しながらできるようになってきました！
- ・今まではほとんど指示待ちでしたが、少しづつ自分から動けるようになりました！
- ・ご家族とお話するのがまだ難しいです。ご利用者のことをもっとしっかり把握しておかないと！
- ・一通りできるようになりました。ただ、先輩を頼って「これくらいいいか」とセーブしていることもあります。より上を目指して頑張ります！
- ・先輩から注意をされて、ずっと落ち込んでいたんですが、その先輩から「ここは良くできたね、ここはこうするともっといいよ」と言われてうれしかったです。「働くのがいやだな」と思う時もあったけど、先輩に出逢えてよかったです！

新人研修 (10月10日)

逃げないゾウの話

ゾウはあんなに力があるのに、小さな杭に結び付けられているだけで逃げようとしません。何故でしょうか？

これは象が小さくてまだ力がない生まれてすぐのころ、木の杭やロープで縛るだけで逃げられないところに、ずっとロープに縛っておいて、いくらがんばっても逃げられないということを、何度も何度も経験させたからです。すると象は、「どうせいくらがんばっても逃げられない。無駄な体力使うのはやめておこう…」、と思うようになります。こういうのを『学習的無力感』といいます。人間も同じで、これまでの色々な経験や失敗から「でも」「だって」「どうせ」と理由をつけて諦めてしまうこともあります。今、新人さんたちは色々な経験や失敗をしています。「でも・だって・どうせ(3D)」というロープを引きちぎるには、本人の努力と勇気、そして周りのサポートが必要です。



思い込みの話

こんにちは みさなん おんげき ですか？わたしは げんきです。
この ぶんしょうは いりぎすの ケブンツリジ だがいくの けゅきんう の けっかにげんんは もじを にしんき すとるき その さしいよとさいご の もさじえ あいてつれば じばんゅん は めくちゃちゃ でも ちんやとよめるといふ けゅきんう にもづいとて わざと もじの じんばゅん をいれかえて あまりす。
どでうす？ ちんやと よちめう でしょ？

慣れてくると、ついつい思い込みで動いてしまうことがあります。その思い込みが、誤嚥などの重大な事故につながることもあります。上記のゾウも「どうせ出来ない」という思い込み。丁寧な確認も重要になってきます。